

研究課題番号	2-1710
研究課題名	メタンの合理的排出削減に資する東アジアの起源別収支監視と評価システムの構築
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	131,328 千円
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	伊藤 昭彦

1. 評価者の指摘及び提言概要

植物生態モデル、大気質観測、地球システムモデルを組み合わせたバランスの良い研究になった。各テーマでの新機軸が得られ、テーマ連携によってメタン排出インベントリと濃度の間の整合性のある評価になっている。行政目的で使用可能な結果である。ボトムアップ的手法や地上での大気観測に基づいて推定された CH₄ 放出、吸収を起源別に明らかにしたことは、パリ協定に向けた実効性にある排出削減方針を提示するという研究目的は達成していると考えられる。

今後は得られた知見を基にメタン排出削減の具体的方法の検討まで進展できると国の環境政策に大いに貢献できると考えられる。

2. 評点

総合評点：A